教育原理
Principles of Education

UMIGUCHI Hiroyoshi
海口　浩芳

科目ナンバリング：UTL-1-301-01

■授業の目的及び到達目標
この授業の目的は、教育の基本的概念や理念について教育の歴史や思想から学び、その現代的意義を考えることである。教育の基本的概念、教育の歴史、主な教育家の教育思想を理解したうえで、それらの概念・知識を活用して実際の教育や学校における諸問題に対する自分の考えを確立できるようになることが到達目標である。

■授業計画
1 教育の本質と目的①　教育とは何か
　カントの教育論、ポルトマンのいう生理的早産、アヴェロンの野生児の事例、共同体における教育について理解する。
2 教育の本質と目的②　教育の類型
　コメニウスの教刷術、ロックのタブラ・ラーサ、実質陶冶と形式陶冶について理解する。
3 発達と教育①
　遺伝説（成熟優位説）、環境説（学習優位説）、輻輳説、相互作用説、レディネス観の転換について理解する。
4 発達と教育②
　ピアジェの発達論、エリクソンの発達論、コールバーグの道徳性の発達段階論、ハヴィガーストの発達課題、アタッチメント（「愛着」形成）の重要性について理解する。
5 教育の歴史と思想（古代）
　古代ギリシアにおける教育および教育思想について理解する。
6 教育の歴史と思想（中世）
　中世ヨーロッパにおける教育および教育思想について理解する。
7 リーディング・レポート報告、教育課題について考える
　前半：リーディング・レポートの報告。後半：教育問題についてグループワーク
8 教育の歴史と思想（近代、近代学校制度）
　近代における教育の歴史および教育思想について理解する。近代学校制度の成立とその特徴について理解する。
9 教育の歴史と思想（欧米における公教育の成立）
　欧米における公教育の成立過程と公教育の三原則について理解する。
10 リーディング・レポート報告、教育課題について考える
　前半：リーディング・レポートの報告。後半：教育問題についてグループワーク
11 教育の歴史と思想（新教育運動）
　ヨーロッパにおける新教育運動、アメリカにおける新教育・進歩主義教育運動について理解する。
12 教育の歴史と思想（日本における教育の歴史）
　古代から現在までの日本における教育の歴史および主な教育思想の要点について理解する。
13 授業のまとめと試験
　これまでの授業のポイントを整理し、試験を行う。試験後、フィードバックとしての事後解説を行う。

■授業の方法
授業は講義を基本とするが、主題に応じて演習形式のグループワークも行う。

■予習・復習
〈予習〉事前に Blackboard から配信されるテキストに目を通して理解できないところを把握しておく。（1〜2 時間程度）
〈復習〉授業の内容を再確認する。授業で出てきた用語を再確認し、理解を深める。（1〜2 時間程度）

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）
定期試験（50%）、定期試験時に行う漢字総合テスト（10%）、リーディング・レポートの作成と報告（40%）による総合評価。総合漢字テスト、リーディング・レポートの詳細については、初回授業において説明する。

■教科書・参考書
教科書：科目担当者が作成したテキストを Blackboard から配信する。
参考書：田嶋一ほか編,『新版補訂版　やさしい教育原理』有斐閣アルマ。

■関連する科目
教職課程科目はすべて関連しますが、とりわけ教育史と関係が深いです。教育史との併修をお勧めします。